



初等教育プログラム (PYP) に関する主な研究結果

国際バカロレア (IB) のリサーチ部門は、世界各地の大学や独立研究機関との協力の下、厳密な調査を実施し、IBが提供する初等教育プログラム (PYP : Primary Years Programme)、中等教育プログラム (MYP : Middle Years Programme)、ディプロマプログラム (DP : Diploma Programme)、キャリア関連プログラム (CP : Career-related Programme) という4つのプログラムの影響と成果を検証しています。本資料では、PYPに関する最近の調査研究の主な結果をご紹介します。

米国 (カリフォルニア州) で行われた研究では、さまざまな手法を組み合わせ、PYPが学校環境に及ぼす影響を調査しました。その結果、学校環境に多くの改善点が見られ、参加者の多くがこの変化をPYPによるものだと考えていることがわかりました。すべての学校の参加者が、PYPのおかげで「社会性と情動の学習」 (SEL : social-emotional learning) および「児童の全人性」への関心が高まったことを指摘したほか、教科横断的な指導法の使用や教師間の協働が活発化したと報告しました。さらに、定量的なデータから、6項目の学校環境 (安全だと感じられる環境、思いやりのある人間関係、公平性、保護者の関与、いじめ、不当な処遇) に関して、認定後、統計的に有意な改善があったことが示されました (表1) (Boal and Nakamoto 2020)。

学校環境の成果	認定後の改善	統計的に有意な改善
安全だと感じられる環境	3	3
思いやりのある人間関係	3	3
公平性	3	3
保護者の関与	3	3
いじめ	3	3
不当な処遇	3	3
学校内のつながり	3	
有意義な参加	3	
学校の学習活動		

表1 : PYPの認定後に見られた学校環境の変化

5か国 (中国、ケニア、メキシコ、ロシア、イギリス) で行われた研究では、PYPの「エキシビション」の影響を調べました。「エキシビション」は、PYPの集大成となるプロジェクトで、児童が自分たちで選択したトピックについて調査し、学習したことを発表します。本研究では、活動としての「エキシビション」に対し、保護者、児童、教師からの圧倒的な支持が明らかになり、これがカリキュラム時間の有効な活用方法であるとともに、PYPがもたらす学習を究極的に具現化するものであるという強い確信が示されました。この研究の参加者は、「エキシビション」によって児童の批判的思考 (クリティカルシンキング)、国際的な視野、「IBの学習者像」の人物像が養われたと感じていました (Medwell et al 2017)。

オーストラリアでは、PYP実施校の児童の心身の健やかさ、およびPYPのカリキュラムと児童の幸福感の関係性についての調査が行われました。その結果、PYPのカリキュラムとプログラムの要素に、心身の健やかさを促進する活動と実践が数多く含まれていることがわかりました。優れた実践を行っているPYP実施校では、より好ましい学校環境が実現されるとともに、教師の関与、児童の参加意欲、児童の心身の健やかさが高いことが一貫して示され、これらの結果はPYPに起因すると考えられています。最後に、PYP実施校と、類似するPYP以外の学校を定量的に分析した結果、PYPは、各学校が導入している心身の健やかさに関する他の活動に比べ、児童の幸福感を高める効果が突出していることを示す実質的なエビデンスがもたらされました (Dix and Sniedze-Gregory 2020)。

また、IBのプログラムにおける計算論的思考とデザイン思考に注目したグローバルな研究の一環として、IBのカリキュラム教材の監査も行われています。

PYPの教材を調査した研究者らは、次のように結論づけました。「PYPのIB資料『学習と指導』は、指導の実践に深く対応しているという点で、並外れて高いレベルにある。その結果、教科の枠をこえたアプローチと具体的な実践方法のガイダンスを提供して、児童のエージェンシーを支え、スキルの習得を促している。(中略) 児童生徒の能力開発、および指導と評価の実践を強調する姿勢が模範的である。」 (Slotta et al 2020)。

オーストラリアで行われた研究では、ビクトリア州の公立小学校13校でPYPを導入した影響を検証し、国語や算数の全国評価における児童の結果¹を調査しました。PYPの公立校は、第3年次と第5年次の国語と算数の両方で、類似する学校やオーストラリアの学校全般を上回る成績を収めました。また、学校の教職員は、児童の学習、学習到達度、「IBの学習者像」の人物像の開発、意欲向上にPYPが寄与していると考えていました (Gough et al 2014)。

世界各地の8校を対象にしたグローバルな研究では、PYPの教師の評価に関するリテラシーと学校内の評価の文化を調査しました。PYPの教師と学校管理職への聞き取り調査の結果、これらの学校では、評価に対して包括的で継続的なアプローチが実践されていました。また、評価に際して多種多様な活動とストラテジーが用いられていて、知識、理解、スキルの面で児童の成長を評価するために必要なエビデンスについて、確実な理解があることが証明されました (Toe et al 2016)。

¹ 第3年次および第5年次の児童のNAPLAN (読み書きと計算についてのオーストラリアの全国評価プログラム) の結果より

初等教育プログラム (PYP) に関する主な研究結果

コロンビアでは、さまざまな手法を組み合わせたケーススタディーを使って、PYP実施校4校における管理職、教員、児童の認識を調査しました。児童への聞き取り調査において、ポジティブな学習体験をもたらしている主な理由が教師であることがわかりました。同時に行われたアンケート調査では、PYPの児童の大多数がその学校の児童であることによる喜びを感じ（89.3%）、誇りをもっている（90%）ことがわかりました（Lester and Lochmiller 2015）。

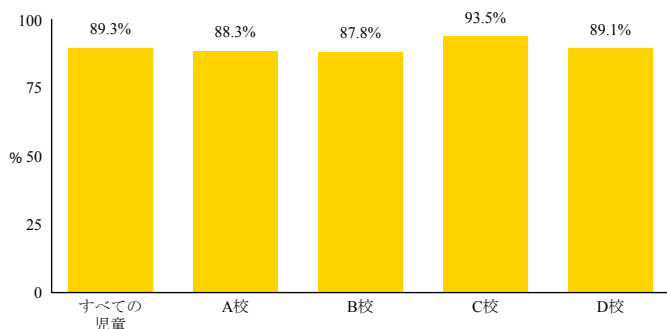


図1：学校が楽しいと答えた児童の割合

ニュージーランドでは、PYPを提供している公立校と私立校14校で、児童の到達度を調べ、また国の教育課程であるニュージーランド・カリキュラム (NZC) とPYPのカリキュラムの整合性を探究しました。標準学力検査の結果を分析したところ、PYP実施校の児童の到達度は、同様の生徒層をもつ他の学校を全体的に上回っていることが示されました。また、PYPとNZCの間にはおおむね互換性があったものの、いくつかの点が異なっていて、特にPYPでは国際的な視野、探究、行動が重視されている点が明らかになりました。（Kushner et al 2016）。

ヨーロッパ6か国（オーストリア、イギリス、ドイツ、イタリア、オランダ、スウェーデン）の研究では、学校のリーダーシップ（PYPの校長およびコーディネーター）とPYPの実施状況の関係性を調査しました。教職員へのアンケート調査と聞き取り調査の結果、PYPの校長とコーディネーターは、IBの価値観の実現に固い決意と情熱をもって取り組んでいることが明らかになりました。また、この回答から、PYPのリーダーが「IBの学習者像」の人物像をおおむね反映していることもわかりました（Day et al 2016）。



参考文献

- Boal, A and Nakamoto, J. 2020. School change: How does IB Primary Years Programme implementation impact school climate? Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.
- Day, C, Townsend, A, Knight, R and Richardson, K. 2016. School leadership in the Primary Years Programme. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.
- Dix, K and Sniedze-Gregory, S. 2020. The impact of the IB Primary Years Programme on student well-being and other related social-emotional learning outcomes. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.
- Gough, A, Sharpley, B, Vander Pal, S and Griffiths, M. 2014. The International Baccalaureate Primary Years Programme in Victorian Government primary schools, Australia. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.
- Kushner, S, Cochise, A, Courtney, M, Sinnema, C and Brown, G. 2016. International Baccalaureate Primary Years Programme in Aotearoa New Zealand: A case study in whole-school innovation. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

- Medwell, J, Cooker, L, Bailey, L, and Winchip, E. 2017. The impact of the PYP exhibition on the development of international-mindedness, critical thinking and attributes of the IB learner profile. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.
- Lester, J and Lochmiller C. 2015. A mixed-methods case study of International Baccalaureate Primary Years Programmes in four Colombian schools. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.
- Slotta, J, Chao, J and Tissenbaum, M. 2020. Fostering computational thinking and design thinking in the IB Primary Years Programme, Middle Years Programme and Diploma Programme. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.
- Toe, D, Lang, J, Paatsch, L, Yim, B, Jobling, W, Doig, B and Aranda, G. 2016. Assessment of student development and learning in International Baccalaureate Primary Years Programme schools. The Hague, Netherlands. International Baccalaureate Organization.

詳細については、research@ibo.orgにお問合せいただくか、www.ibo.org/researchをご覧ください。